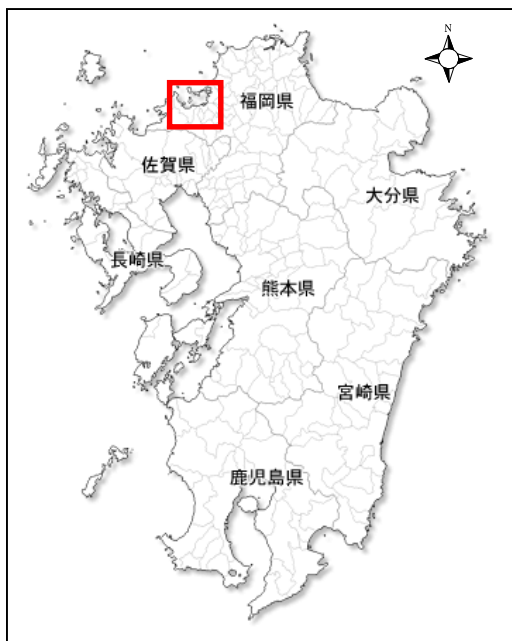


再評価結果（令和3年度事業継続箇所）

担当課：都市局街路交通施設課
担当課長名：中村 健一

事業名	連続立体交差事業 西日本鉄道天神大牟田線（雑餉隈駅付近）	事業区分	連続立体交差	事業主体	福岡市
起終点	自：福岡市博多区南八幡町 至：福岡市博多区西春町	延長	1.9 km		
事業概要					
西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）は、福岡市南部の地域拠点に位置づけられている雑餉隈地区の鉄道約1.9kmの区間を高架化し、7箇所の踏切を除却することにより、踏切での交通渋滞や事故を解消し、線路で分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境の形成に資するものである。					
H22年度事業化		H19年度都市計画決定		H22年度用地着手	
H23年度工事着手					
全体事業費	41.1億円	事業進捗率	92%	供用済延長	— km
計画交通量	283,905台時/日（踏切交通遮断量）				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.1 (残事業) 1.8	(残事業)/(事業全体) 21/363億円 事業費：21/363億円 維持管理費：0.07/0.07億円	(残事業)/(事業全体) 385/385億円 走行時間短縮便益 251/251億円 走行経費減少便益：68/68億円 交通事故減少便益：67/67億円	令和2年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量		B/C=0.97~1.2（交通量 ±10%）		(残事業) 交通量	
事業費		B/C=1.05~1.1（事業費 ±20%）		事業費	
事業期間		B/C=1.04~1.1（事業期間 ±20%）		事業期間	
B/C=17~20（交通量 ±10%）		B/C=15~23（事業費 ±20%）		B/C=18~19（事業期間 ±20%）	
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 除却される踏切において、渋滞や事故、踏切待ちが解消する。 ・ 駅利用者の上下移動が減少し、利便性・快適性が向上する。 ・ 地震等による長時間の踏切遮断を回避でき、第2次緊急輸送道路の機能強化が図られる。 ・ 踏切渋滞の解消により、CO2やNOXの排出量が削減される。 ・ 列車走行の騒音・振動が軽減され、踏切の警報音が解消される。 ・ 線路により分断された市街地が一体化する。 					
関係する地方公共団体等の意見					
なし					
事業評価監視委員会の意見					
—					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
特になし					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率100%、事業進捗率約92%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
令和4年度に高架切替を行い、令和7年度に完了の見込み。					
施設の構造や工法の変更等					
残工事が僅かであるが、今後もコスト縮減に努める。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由					
平成22年度の事業着手以降、順調に進捗し、令和4年度には隣接する福岡県事業区間との同時高架切替を予定しており、本事業は完成に向け順調に進捗している。費用対効果も見込まれ、踏切での交通渋滞や事故を解消し、線路で分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境の形成に資する事業であることから、継続して早期完成を図る。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。